

## 令和6年度 第4回 稲城市子ども・子育て会議 議事録（要旨）

**開催日時** 令和7年3月26日（水）午前10時00分～午前11時30分

**開催場所** マスヤビル2階 205号室

**出席者**

【委員】 ※五十音順（敬称略）

	氏名	区分	組織名
会長	市野 繁子	学識経験者	駒沢女子短期大学保育科教授
副会長	伊藤 裕子	教育・保育施設関係団体	私立保育園園長代表 (若葉台バオバブ保育園園長)
	安東 絵美	教育・保育施設関係団体	認可外保育施設代表 (ピノキオ幼児舎園長)
	角田 亨	教育・保育施設関係団体	認定こども園代表 (学校法人子どもの森理事長)
	師岡 志織	保健福祉関係機関	稲城市社会福祉協議会 (貧困に関する有識者)
	舟木 素子	保健福祉関係機関	東京都南多摩保健所 所長
	佐藤 久美子	福祉関係団体	稲城市民生児童委員協議会代表 (主任児童委員)
	橋 謙太	福祉関係団体	稲城市青少年委員 (青少年・若者に関する有識者)
	奈良部 義彦	団体代表	稲城市商工会代表
	岩本 綾華	児童福祉関係機関	学童クラブ代表 (学校法人東京青葉学院エリアマネージャー)
	村上 容子	子どもの保護者代表	稲城市私立幼稚園父母の会連合会代表 (コクマサ幼稚園保護者・R6年度担当)

※欠席委員：石井 篤司（教育・保育施設関係団体）、溝口 孝史（子どもの保護者代表）、寺島 彰（市民委員）

※傍聴席：1名

【事務局】 子ども福祉部長：岡野、児童青少年課長：勝野、子育て支援課長：森、子ども家庭支援センター課長：野木、おやこ包括支援センター課長：蒔田、障害福祉課長：眞下、生活福祉課長：工藤、教育総務課係長：古川（課長代理）、生涯学習課長：工藤、児童青少年課青少年係長：武内

**配付資料**

- 資料1 稲城市こども計画
- 資料2 ご意見&対応表（子ども・子育て会議）
- 資料3 計画内容変更一覧表
- 資料4 市民からの応募意見に対する考え方
- 資料5 稲城市こども計画 わかりやすい概要版
- 資料6 こどもからの応募意見に対する考え方

## 議事の要旨

### 1 稲城市こども計画（案）について

- (1) 計画全体について（修正内容の確認）
- (2) 市民からの応募意見に対する考え方について

事務局から、資料1～4に基づき説明があった。委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	特に質問・意見なし。
----	------------

### 2 わかりやすい概要版について

- (1) 掲載内容について
- (2) こどもからの応募意見について

事務局から、資料5・6に基づき説明があった。委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	<p>こどもからのご意見に対する市の考え方の資料を読んで、すごい微笑ましいなと思った。こどもにちゃんと回答するという行動に対して、素晴らしいなと思った。</p> <p>また、どんなリクエストだったとしたとしても、自分の意見を伝える手法があるということ、このやり取りができることが素晴らしい。</p> <p>あと、こどもの意見への市の回答がすごく素敵だなと私は思った。大人の市民からのご意見に対する考え方と比べてしまう。</p> <p>比べることはないが、私どもも市に要望書を書いて回答いただくと、簡潔な回答となると、できることとできないことがあり、できませんという結果になる場合も多い。私たちは今初めて市役所の皆さんが稲城市のことやこどものこと、保護者のことを考えてくれるということをすごく実感できたし、事務局に説明していただくと、そういうことなんだね、だからこれは頑張ってもできないんだなっていうのが伝わるんですけど、他の市民の皆さんはこの文章だけで市役所とのやり取りになってしまい、この回答だけを見て、今回ダメだったとかできないのかっていう受け取りをしてしまうのがすごく残念だなと感じた。</p> <p>こどもからの意見の回答の方が寄り添ってくれていて、このことに対して返してくれているっていうのをすごく感じた。簡潔にここに収めなければいけないというのはあって、すごく難しいと思うが、大人の方も意見を出すというのは、大変なことだと思う。</p> <p>これ以外に回答の書き方がないかなと思ったが、やり取りがここだけで完結することを考えると、もっと違う表現の仕方があるのかなと思う。</p> <p>この取り組みが市民の方に届いてしまうと、ちょっと残念だなっていう風に私は思う。</p>
事務局	<p>皆様から寄せられる意見に対する回答は、すごく悩みながら作っている。決まったスペースの中に簡潔に書いて示さないといけない苦しさもある。</p> <p>私たちの考えはこうなんだと沢山書けるといいのかなと思うが、それができにくい傾向にあるので、相手が大人だということもあり、回答は大人向けに簡潔に作っている。</p> <p>こどもに対しての回答がこちらで大丈夫そうであれば、ホームページにて公表する。それと合わせて意見を寄せてくれたのが、児童館・学童クラブに通うこどもからになるので、印刷して掲示しようと思っている。</p> <p>寄せてくれた意見に対して、市役所が受け止めたということ、みんなの意見について市は、こういう風に考えているということをきちんと、言葉のキャッチボールと</p>

	<p>同じように、回答を掲示することで意見の会話をしていきたいと思う。 大人の方への回答は、なるべく分かりやすく、簡潔にという形にしている。</p>
委員	<p>ホームページに掲載するときには、前文は記載されるのか。</p>
事務局	<p>少し記載はされると思うが、このままの形で掲載されると思う。</p>
委員	<p>こどもに対する回答の「私たち市役所にも、できることと、できないことがあります が、これからもこどもたちの笑顔が沢山みられるように、がんばっていきます。」 みたいな文章が大人の回答にもあるといいなと思った。この方が心の寄せ方がお互い のコミュニケーションができるかなと思う。</p>
事務局	<p>ぜひ前向きに検討していく。</p>
委員	<p>わかりやすい概要版の1~2ページの方が、内容が固く感じる。見開きにぱっと目に入 ってくる方がよかったのではと思う。やっぱり基本理念も固い。文字も多いし、 目に入ってくるようなデザインの方がよかったのでは。予算の関係もあると思う。 限界はあるかもしれないが、間にイラストを入れてもいいのかと思った。次回作る ときにでも参考にしてもらえたら。 もう1点、こどもの回答のところ、2以降の回答に関してはとてもいいと思うが、 回答になってるのかなって正直ちょっと思った。なぜ赤ちゃんのことを書いている のかわからない。法律で5年間しか計画しないのは、回答になっているのか疑問に 思う。例えば、回答をくれた子がどういう意図で言っているのかわからないが、 この計画の中になんで人口のこと、赤ちゃんが少なくなっていることを書いてある のかを聞きたいのではないかと。だから必要というのが、全く回答として抜けてる。 5年間の計画も法律で決められてるから、どうして法律で5年間決めているのかと いう、ここにも回答になっていない。</p>
事務局	<p>こちらの意見への回答は、すごく悩んだ。 意見をくれたお子さんは、文章がほとんど平仮名なので、おそらく低学年のお子さん からだろうと思った時に、どこまで深く考えて意見をくれてるのかなと考えた。 直接的にわかるように、単純に簡潔なお答えの方が、もしかするとこのお子さんの 趣旨に沿ったお答えになるのかなと。単純になんで人口のことを書いてるかと言った ら、人口が少ないから、赤ちゃんの数も少ない、だから、みんなが幸せを感じてくれ るようにこの計画を作り、子育てを頑張る人も応援し、こどもも応援していくんだよ というような、ストレートなお答えの方がもしかするといいのかなと考え、今回の 回答になっている。5年間しか計画がないというのも、もしかするとまた国が 言ってくるのが変わって、計画のスパンが変わるかもしれない。 次に「こども計画」を作りなさいとなるかはわからない。そのため、次もまた5年間 の計画を作りますとは回答できないと考えた。 意見を寄せてくれた低学年であろうお子さんに対して、どんな思いで書いてくれたの か、どうやって答えたらお子さんに気持ちが伝わるか、お子さんが疑問に思ったこと への回答になるかというのを、悩みながら何回も書き直ししながら、まとめた回答にな る。</p>
委員	<p>今のご意見も踏まえて、赤ちゃんの数と人口が少なくなってくるころ。 もう1回工夫してみてほしい。</p>
委員	<p>このこどもの質問は、本当に単純な疑問だったと思う。 他の委員のお話を伺い、そういうことかというのもなんとなくわかるが、今の稲城の 状況を知ってもらうことが1つの目的で、どう未来に活かすかということが、人口と か出生率とかで表しているということが、よくわかった。 どう未来に活かすかっていうことを考えるために載せてますという方が、こどもには</p>

	伝わりやすいのかなと思う。
委員	<p>こどもにどう伝えるか大変悩まれたと思う。</p> <p>例えば、みんなが住んでいるところのお友達が減ったら、寂しいよね。</p> <p>みんな稲城が好きだ。稲城に住みたいと思ってくれる市になるように、こうして計画を色々と考えている。そういうところが伝わっていくのが今回の計画。</p> <p>こどもに伝えることは結構難しい。単純に、感じたことを素直にこういう風に質問してくれていると思うので、相手がどう受け止めるかというよりも、市役所の側からするとこういうことが現状でわかってもらえると嬉しい。</p> <p>このくらいで留めるとなると、このお答えになるのかなという気がする。</p>
委員	これを児童館とかにフィードバックしてくれるということを考えたらこれでいいのかなと思う。
委員	ホームページに載せるのは、色々な方法があり、今はYouTubeで事務局が直接、柔らかい形でお答えいただくとか、そういう方法もあるのかとは思いますが、そこは難しいと思うので、こどもたちに質問してくれたことに対して誠実に返していくことを言っただけなのでいいのかなと感じた。
委員	人口によって、必要な設備や公園を増やした方がいいのではないか等を予測していく。視点を変えての回答でもいいのではないかと。やっぱり基本になるのは、人口なので人口も増えれば、学校・公園も必要となると思う。
事務局	検討する。修正については、事務局に一任いただきたい。
委員 全員	了承。

### 3 その他

委員からの意見・質疑応答は、以下のとおり。

委員	今だから伝えておきたいことがあるが、こどもと聞くとまず、関係する学校のことが出てくるが、「計画の中で学校の計画は、別の計画ですよ」と言われてしまうとなんか釈然としない。
事務局	<p>各課で連携をしていくということで主たる教育の分野とこども福祉の分野、それぞれ計画を作りなさいという現状の形態となると、どうしてもこういった形にせざるを得ない。実際の現場では、ケアが必要なお子さんがいれば、子ども福祉部の職員が学校に行き、そのお子さんやご家庭をどういう風にケアしていくかなど学校ともしっかりと連携をしている。</p> <p>見た目には、どうしても縦割りになってしまうが、見えない部分ではしっかりと連携体制を組みながら、お子さんにお困り事があれば対応している。</p>
委員	<p>期待してる。こども子育ては親が対象ですが、これからの将来、親になるべく、こどもが将来について、同じ年で自分も子育てをしたい、そういう子たちを育てていきたいという考え方も含めての今回の計画なんだろうと思う。</p> <p>対象者がすごく幅広い。こどもといえど、生まれる前のお腹にいる期間の子から、子育てをする、子育てを担う人たちまでの若者に対しての問題、とても幅広いので難しいと思う。ここまで計画をまとめていただいたということも本当に素晴らしいことだったと思う。</p>
委員	少しでも市民の方たちに過ごしやすい稲城市になるように、計画はこのまま計画で

	<p>終わってしまうのではなく、どういったところを具体的に実践していただくのかを皆さんでまた考えていただければいいなと思う。</p>
事務局	<p>作って終わりではなく、ここに掲げたものは実行しているということをまた改めてこの会議の場で皆様に報告をしていく。</p> <p>また、意見をいただく場は、設けていくつもりでいるので、ぜひ引き続きご協力いただきたい。</p>
委員	<p>今、世の中で、もう今年始まったことではなく、こどもまんなか社会というスタートしているにも関わらず、どういうふうに市民に周知していくのかなというところがすごく気になっている。</p> <p>私は保育園で、地域のお昼の公園でお子さんたちと遊びをしていたが、苦情の電話があった。「リモートで会議をしていて困っている、うるさい。」というようなご指摘を受けた。「ここではなく、他にも公園ならあるだろう。」ということだった。</p> <p>その方のお話をまず受け止めて聞き、そして、「どこの公園でも同じように言われるので、本当にこどもたちが思いっきり走れる場所ってどこがいいんでしょうね。今、世の中は、こどもまんなか社会ということで話は進んでいるんですけども、そういう言葉は聞いたことがありますか。これからどんどんこどもまんなか社会になっていくと思うので、こどもの声を騒音と思わないで聞いてほしいなとは思っています。でも、今お話をいただいたので、他の公園の場所も考えてみますね。」とお伝えした。</p> <p>そうしたら、しばらくして電話がかかってきて「今、調べました。こどもまんなか社会って本当ですね。それはすごく大事なことです。ありがとうございます。もうリモートの会議は別の時間でします。」とっていただいた。</p> <p>とてもこのことが嬉しくて、やっぱり言うものだなと思った。やっぱり世の中に周知できていなく、テレビを見ていてもこのことは、全然言わない。2023年から作ろうとしてる中で、稲城市でせつかくこういうものを作ったが、各家庭にあるかといわれたらそうはいかない。だとしたら、稲城市の中でコーナーを設けて周知していくべきではないかなと思った。</p>
事務局	<p>今回、こども計画の中に、こどもの意見の聞き取りを推進していくことを新たな項目として入れており、市役所の各部署に対しても、今後、各会議の中でこどもの意見を聞き取れるように、こどもを委員に採用するように周知していく。</p> <p>各部署が1つでも多くの会議でこどもを採用し、当事者の意見を聞き入れてもらうことをこれから増やしていけたらと思っている。</p> <p>子ども福祉部としては、各部署に対して全庁的に働きかけ、取り組んでいきたい。少しずつでもこどもの意見を市の施策に反映していけたらと思う。</p>
委員	<p>小学校の校長先生や大学生、今ここの稲城市で働いている若者にも今後、委員として考えていただくと、また少し違った意見も出てくるのではないかと感じる。</p>